

8. 中国（地域別調査機関：（社）中国地方総合研究センター）

（-：回答が存在しない、_：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連	良く なっている	コンビニ（エ リア担当）	来客数の動き	・先月は前年割れしていた来客数が、今月は対前年 比108.2%と好調に推移している。客単価は100.2% と前年並に推移し、大幅に前年割れしていた主流の 米飯類も前年をクリアしており、良い傾向にある。
	やや良く なっている	百貨店（営業 担当）	お客様の様子	・客単価は厳しいが、特売期に入り、暑さも加わっ て夏アイテムのTシャツを中心に、好調に推移し た。
			スーパー（総 務担当）	単価の動き
		コンビニ（エ リア担当）	販売量の動き	・6月末から猛暑のため、飲料、アイス、冷やし麺 が非常に好調である。特に飲料は前年比20～30%上 昇、アイスは、30～50%上昇している。しかし、客 単価は変わっていない。
		衣料品専門店 （地域プロッ ク長）	来客数の動き	・スーツ単価の二極化が進んでおり、客数は伸びて いる。
		家電量販店 （店長）	単価の動き	・猛暑により、夏物商材、特にエアコンが量では好 調だが一品単価が低く、苦慮している。
		家電量販店 （店員）	販売量の動き	・販売量が増加しただけでなく、一品単価、客単価 とも上昇した。
		都市型ホテル （総務担当）	単価の動き	・レストラン、宿泊ともに、単価の高いものが徐々 に売れ始めている。
		旅行代理店 （経営者）	販売量の動き	・SARSの影響が全く消え、海外旅行の受注量が 前年比244%となった。前々年比ではまだ90%だ が、景気は徐々に好転していると感じられる。
		旅行代理店 （営業担当）	単価の動き	・近くの安いものよりも、遠くの高額商品が売れ始 めた。
		タクシー運転 手	販売量の動き	・猛暑のため、ビアガーデンが盛況である。また、 中国総体の影響でホテルの利用者も非常に多く、タ クシーを利用される人がかなり増えている。
	タクシー運転 手	来客数の動き	・暑さ、ボーナスの影響により、夜の飲食街に活気 があるように感じられる。	
	変わらない	一般小売店 〔靴〕（経営 者）	お客様の様子	・客は希望商品、希望金額の物以外には目もくれな い。
一般小売店 〔茶〕（経営 者）			販売量の動き	・商品の特性により、猛暑のため、売上が減少して いる。 ・価格帯の安いお茶葉を使用したドリンクが良く売 れているため、安いお茶葉の仕入原価が高騰してい る。
百貨店（営業 担当）		単価の動き	・7月のセール状況を見ていると、来店客数は10% 以上増えているが、売上の伸びは5%程度にとど まっている。セールだからといって、まとめ買いす る客は少なく、単品買いの多さが目立つ。購買意欲 は高くても、財布のひもは固いのを感じる。	
百貨店（販売 促進担当）		お客様の様子	・セール、中元ともに前年比マイナス推移であり、 中元についても値引商品に売上が集中し、価格に対 してシビアな反応が見られる。	
百貨店（売場 担当）		お客様の様子	・お中元はまずまずの売上である。しかし、猛暑の ため衣料関係が苦戦しており、全体としては、ほぼ 横ばいである。	
スーパー（店 長）		単価の動き	・相変わらず買上点数が減少している。 ・税額5%を上乗せできない状況が続いている。	
スーパー（店 長）		単価の動き	・客数は3か月前と比べ5%増加しているが、総額 表示実施以降、一品単価が下落し続けているため、 客単価が3%下落し、苦しい状況である。	
スーパー（販 売担当）		販売量の動き	・前年に比べ、発注数量も減少している上に、客の 動きも鈍く感じられる。	
衣料品専門店 （経営者）		お客様の様子	・ダイレクトメールにてバーゲンの案内をしても客 の反応が鈍く、ダイレクトメール発送から来店まで の時間が一段と長くなった。	

	家電量販店 (副店長)	販売量の動き	・オリンピックを間近に控え、薄型テレビを中心としたAV商品が好調である。また、猛暑のためエアコンなどの季節商品、さらに冷蔵庫の買い替えの急増により白物商品も好調に推移している。しかしながら、それらをすべて打ち消してしまうほど、パソコンを中心としたOA商品が落ち込んでいる。
	乗用車販売店 (統括)	販売量の動き	・前年7月は新型が出たが今年の7月はないので、販売量が前年と比較し落ち込んでいる。
	乗用車販売店 (販売担当)	お客様の様子	・新車への代替サイクルが長くなっている。壊れるまで乗ると言う客が増えてきた。
	一般レストラン (経営者)	単価の動き	・数か月前から客単価が少しずつ回復してきていたが、先月、今月と客単価がほぼ同じになった。
	一般レストラン (店長)	販売量の動き	・低単価集中型になっており、牛肉の鉄板焼も始めたが仕入れが高騰しているため売価が高くなり、販売数が伸びていない。
	都市型ホテル (従業員)	来客数の動き	・ビアガーデンの週末の営業は好調だが、それでも以前ほどの集客ではない。特に大口の団体予約が戻っていない。
	都市型ホテル (スタッフ)	来客数の動き	・旅行者が少なく前年に比べ宿泊数は低調だが、レストランは好調である。
	通信会社(経営者)	お客様の様子	・加入契約数がここ数か月低下したままであり、かつ解約も増加し、純増加数が低迷したまま推移しており、増加の兆しが見えない。
	テーマパーク (財務担当)	販売量の動き	・暑さのため、入園者数はあまり伸びていない。しかし、宴会などの売上が伸びているため、売上自体はどちらとも言えない。
	美容室(経営者)	お客様の様子	・競合店が価格値引をかなり実施してきているため、あまり売上が増えない。
	設計事務所 (職員)	販売量の動き	・近傍の休耕田に一戸建て住宅の新築が多く、売行きも好調であった。現在は、建設・販売ラッシュも一段落といった感じである。
	住宅販売会社 (経理担当)	来客数の動き	・発売中のマンションは、モデルルームへの来場者数が減少し、週末でも来場者がいないという現場もある。また、発売前の事前広告についても、今月はアンケートの回収率がこれまでの3分の1程度に低下している。
やや悪くなっている	商店街(代表者)	来客数の動き	・商店街の来街者が、日に日に少なくなってきた。
	一般小売店 [印章](営業担当)	お客様の様子	・来店者数も少なく、実印の注文も少なくなっており、法人登録の代表者印の注文も少なくなっている。
	百貨店(売場担当)	販売量の動き	・セールの売上は、昨年を少し割り込むと予測される。猛暑のため水着やパラソルなどの売上は昨年を超えたが、主力のヤング衣料品が低調であった。
	スーパー(店舗運営担当)	販売量の動き	・競合店が開店したため買物目的以外のバーゲンハンターが増え売上点数は下がっているが、客数自体は変化していない。
	住関連専門店 (広告企画担当)	お客様の様子	・広告をしていないときの客の動きがほとんどなく、広告をしても反応の出る期間が短い。お得なときにしか動かないという印象が強い。
	住関連専門店 (営業担当)	お客様の様子	・改装後、来客数が伸びず、前年比で10%の売上が落ちている。 ・購入契約に結び付くまでの時間が長くなってい
	タクシー運転手	お客様の様子	・タクシーのお客の動きは悪い。 ・夏休みに入っても観光客は少ない。
	ゴルフ場(営業担当)	単価の動き	・来客数は伸び悩んでいるが、単価を落とすことによって集客は確実に増えている。景気が下げ止まったという感じはある。
	住宅販売会社 (従業員)	来客数の動き	・来場数が減少状況にあったが、今月は3か月前の約半減の数値になっている。来場数の確保のために広告等を行ったが、顧客の反応はあまりない。
	悪くなっている	商店街(代表者)	来客数の動き
コンビニ(エリア担当)		販売量の動き	・暑さや競合店のため売上が伸びていない。前年を割る月は今年初めてである。

		一般レストラン(店長)	お客様の様子	<ul style="list-style-type: none"> ・セット商品の比率が15%程度落ちている。 ・客が金銭に対して非常にシビアになっていると感じられる。
企業動向関連	良くなっている やや良くなっている	化学工業(総務担当)	受注価格や販売価格の動き	<ul style="list-style-type: none"> ・生産量、出荷量ともに増加傾向にある。社内は全般に高稼働を維持しているが、デフレ圧力に加え物流費・原料費・燃料費などの高騰により利益が上がりにくい。
		金属製品製造業(総務担当)	受注量や販売量の動き	<ul style="list-style-type: none"> ・得意先である工作機械業界、造船業界からの受注が非常に好調である。
		電気機械器具製造業(総務担当)	受注量や販売量の動き	<ul style="list-style-type: none"> ・秋口以降まで受注が好調に入っており、工場もフル稼働生産である。
		輸送業(統括)	取引先の様子	<ul style="list-style-type: none"> ・新紙幣の発行に伴い、業務が増加すると予測される。各金融機関ともアウトソーシングの話が出ている。
		金融業(営業担当)	それ以外	<ul style="list-style-type: none"> ・このままではいけないという意識が強くなり、金額は500万円から1,000万円程度ではあるが、機械の更新や建物の整備など、諸設備にお金を回す経営者が出てきた。
		金融業(業界情報担当)	取引先の様子	<ul style="list-style-type: none"> ・輸出を中心とした新車の販売好調を背景に、生産はフル操業を持続している。単価引下げ要請は厳しいが、量産効果で増益基調を確保し、設備投資も前年比プラスで推移している。
変わらない		窯業・土石製品製造業(総務経理担当)	受注量や販売量の動き	<ul style="list-style-type: none"> ・飛び込み受注などで生産水準はまずまずで、時間外労働も多い。
		鉄鋼業(総務担当)	受注量や販売量の動き	<ul style="list-style-type: none"> ・国内自動車生産及び造船向けなどが好調を継続しており、フル操業状態が続いている。
		非鉄金属製造業(経理担当)	受注価格や販売価格の動き	<ul style="list-style-type: none"> ・素材系の値上げは一服した感があるが、川下側にそれがじわじわと影響してきている。
		一般機械器具製造業(経営企画担当)	受注量や販売量の動き	<ul style="list-style-type: none"> ・国内での仕入れ商品は苦戦しているが、海外向けの自社製品が非常に好調である。
		その他製造業[スポーツ用品](総務担当)	受注量や販売量の動き	<ul style="list-style-type: none"> ・国内の消費動向受注は相変わらず低調に推移しており、それに伴って受注量も低調であり、前年比でもマイナス進行している。別注品や新商品は好調だが、それ以外の通常商品は伸び悩んでおり、在庫増の要因となっている。
		建設業(経営者)	受注価格や販売価格の動き	<ul style="list-style-type: none"> ・業界全体では依然として厳しいが、若干、民間の設備投資が増え仕事量は増えている。しかし、競争が激しく利益にはつながっていない。
		通信業(社員)	受注量や販売量の動き	<ul style="list-style-type: none"> ・既存客への受注継続分は昨年並み程度にはどうにかクリアできるが、横ばいで伸び悩んでいる状況は変わらない。新たなメニュー提案にて奮闘しているが、厳しいものがあり、受注まで至っていない。
		通信業(営業企画担当)	受注価格や販売価格の動き	<ul style="list-style-type: none"> ・法人向け情報通信サービスの値動きは、相次いで登場している品質・機能面の向上対応措置に連動しておらず、顧客にとって選択しやすいメニューのみが増え、提供業界側の収益増には結び付いていない。
		広告代理店(営業担当)	受注量や販売量の動き	<ul style="list-style-type: none"> ・各企業の求人広告が相変わらず低迷している。
		会計事務所(職員)	取引先の様子	<ul style="list-style-type: none"> ・中小零細企業の販売業の売上高は、世間一般に言われているほど増加はしていない。逆に大手に売上を取られ、売上高低下の中で経費の削減などのやりくりをしている。

		その他サービス業 [清掃具レンタル] (情報管理担当)	受注量や販売量の動き	<ul style="list-style-type: none"> ・新規事業売上好調により、今期累計で予算及び前年売上とも、100%達成の見込みである。 ・対家庭向け商品では、季節柄、除菌商品、脱臭商品が好調であり、対事業所向け商品は新規事業商品が好調である。 ・しかし、対家庭向け商品では、レンタルモップが大きく前年を割れ、対事業所向け商品は、レンタル商品全般が値引きによる大幅売上減少と、依然として苦しい状況である。
	やや悪くなっている	食料品製造業 (総務担当)	受注量や販売量の動き	<ul style="list-style-type: none"> ・稼働率が高いところもあるが、食品業界はこの時期製造が不安定になる。
		繊維工業 (統括担当)	取引先の様子	<ul style="list-style-type: none"> ・過当な競争状況が再燃してきた。
		建設業 (営業担当)	受注価格や販売価格の動き	<ul style="list-style-type: none"> ・マンション系の住宅関係の受注金額が10~15%下がるケースが多くなった。
	悪くなっている			
雇用関連	良くなっている	民間職業紹介機関 (職員)	求人数の動き	<ul style="list-style-type: none"> ・過去取引のあったクライアントから人員募集 (依頼) の話が幾つか浮上している。
	やや良くなっている	人材派遣会社 (支店長)	求人数の動き	<ul style="list-style-type: none"> ・求人数は日に日に増えているが、必要とされる層ほど不足感が強く、良い人材ほど「強い会社」に集まる傾向が強くなってきている。
		職業安定所 (職員)	求人数の動き	<ul style="list-style-type: none"> ・大型スーパー開店に伴う求人や業務請負業からの大量求人など、久しぶりに新規求人が大幅に増加し
		職業安定所 (職員)	求人数の動き	<ul style="list-style-type: none"> ・月間有効求人数が8か月連続で前年より増加している。 ・有効求人倍率も9か月連続で前年を上回っている。
		職業安定所 (雇用開発担当)	求職者数の動き	<ul style="list-style-type: none"> ・求職者は減少傾向である。 ・在職求職者が向上移動するものが増えてい
	変わらない	学校 [大学] (就職担当)	求人数の動き	<ul style="list-style-type: none"> ・小売系流通業の追加求人が目立つが、製造業の求人は前年並みである。また、事務系求人は安定している。
		学校 [短期大学] (就職担当)	求人数の動き	<ul style="list-style-type: none"> ・東京や大阪など都市圏からの求人数は微増がみられるが、地元地域や県内からの求人数は伸び悩んでいて、地域の景気が好転するには今しばらく時間がかかる。また、地域経済が復調しても、それが良質な雇用にどの程度結び付くかが不透明である。
やや悪くなっている	新聞社 [求人広告] (担当者)	周辺企業の様子	<ul style="list-style-type: none"> ・百貨店や小売業を中心に売上が思ったほど伸びず、むしろ、悪い傾向に戻りつつある。 ・全体的に大手は堅調であるが、地場中小企業まで波及していない。 	
	悪くなっている	-	-	-